

未来（みく）ちゃん通信

H29.2.24 増刊号

発行人：福部未来学園運営協議会

福部未来学園幼小中合同PTA執行部

より充実した「幼小中一貫教育」に……

2月20日（火）に「第4回福部未来学園運営協議会」が開催されました。

今回の協議会の前半は、平成28年4月から新たな学校制度として生まれた「義務教育学校」が話題となりました。今年に入り、鳥取市でも鹿野町が小学校、中学校分離型の「義務教育学校」を立ち上げることが新聞などで報じられていますので、ご存じの方もあられるでしょう。



福部未来学園は、「幼稚園・小学校・中学校が一体感をもち、10年間の一貫教育を行う」という理念のもと、平成28年4月に開校しました。現在はそれぞれの園舎・校舎で幼小中の連携を図りながら教育に当たっています。平成30年4月の幼小中一体型校舎の完成に向け、準備を進めているところです。

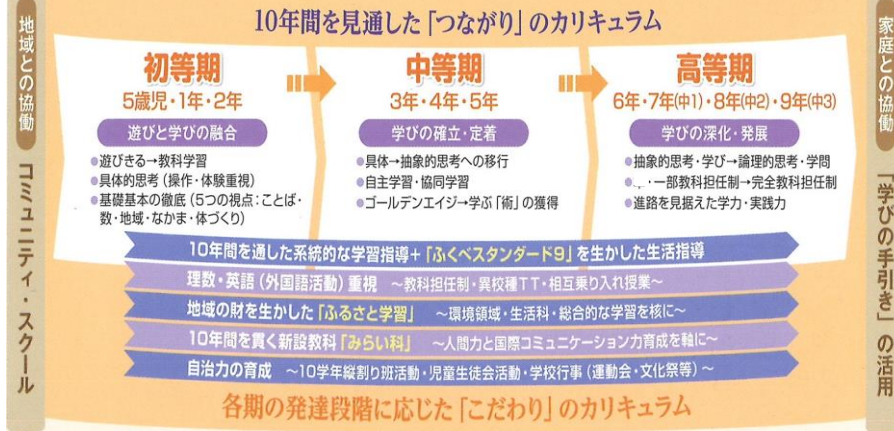
今回の「学園運営協議会」では、市教委学校教育課、校区審議室同席のもと協議を行いました。その結果、福部地域においては「幼小中一貫校」のメリットを活かした教育のさらなる充実を図るために、「義務教育学校」という国の制度を10年間の教育の中で運用する方向で検討していくことを確認しました。

MEMO

「義務教育学校」は制度が始まったばかり。その具体的な効果の検証はまだ行われていませんが、長年小中一貫教育に取り組み、本年度から「義務教育学校」に移行した横浜市「霧が丘学園」では、この1年で以下のような成果が見られたそうです。

- 義務教育学校ならではの自由な発想と手法で子どもたちの育成が可能になった。
- 教職員が長期間子どもたちの成長にかかわることができるようになり、個や集団の成長を実感できた。
- 年齢幅のある子どもたちの交流を通し、上級生が下級生の手本になろうとする意識が高まった。
- 教職員の意識が変わることで、授業やさまざまな活動に広がりがあった。

幼小中一貫校「福部未来学園」



- ・一つの組織として、長期間子どもの成長にかかわる
- ・教職員の幅広い配置により、快適な学習環境を整える
- ・10年間の一貫教育をより意識し、実態に応じた教育を行う

学園運営協議会での「義務教育学校」についての協議は、これからの「福部未来学園」を考えていく上で大切な内容です。少しでも早く保護者の皆様にもお伝えした方がよいと考え、学園運営協議会と合同で「未来ちゃん通信」として増刊号を発行しました。

今回の内容につきまして、もっと詳しくお聞きになりたい方は、直接幼稚園・小学校・中学校までお尋ねください。